

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2006-175256 (P2006-175256A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026
 【出願番号】特願 2006-77866 (P2006-77866)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 Q
A 6 3 F	5/04	5 1 2 J
A 6 3 F	5/04	5 1 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 20 日 (2007.7.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

投入メダルの進路切り替え用セクタに一对のメダル投入用検出手段が設けられ、
 回胴の回転中に得られる上記検出手段からの検出出力に基づいて、メダル投入に対する
 エラー状態を判別するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

投入メダルの進路切り替え用セクタに一对のメダル投入用検出手段が設けられ、
 回胴の回転中に得られる上記検出手段からの検出出力に基づいて、メダル投入に対する
 エラー状態が判別されると共に、メダル払い出し用検出手段と、異物侵入用検出手段とが
 設けられ、

メダル払い出しモードでの上記異物侵入用検出手段からの検出出力に基づいて、上記メ
 ダル払い出しのエラー状態が判別されることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

メダル払い出し装置を構成するメダルが収容された回転ディスクに設けられたメダル通
 路に上記異物侵入用検出手段が設けられことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

上記回胴の回転中に上記検出出力が得られたときは、遊技中の遊技をエラー遊技とする
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

エラー状態と判別されたときは、1 つの遊技単位が終了した段階で、遊技の継続が凍結
 されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の遊技機。

【請求項 6】

1 つの遊技単位とは、入賞によるメダル払い出し終了までであることを特徴とする請求
 項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

エラー状態と判別されたときは、上記回胴の回転が停止した直後に、遊技の継続が凍結
 されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の遊技機。